

編集後記

ここに『北の丸』第四十二号をお送りします。本号では、当館所蔵の資料を紹介し、広く利用を促すため、資料紹介を従来よりも多く掲載しました。

「書物方年代記」は、徳川將軍家の蔵書（いわゆる紅葉山文庫）を管理する書物方の業務日誌の紹介です。今回は、延享三年（一七四六）から宝暦十年（一七六〇）の記述の中から特筆事項をまとめました。本稿のもとになっている『書物方日記』は安政四年（一八五七）まで続きますので、本稿で紹介したものはまだ一部分に過ぎません。今後も継続的に紹介していきます。

【資料紹介】の二つの論考は、各省庁から本館に移管された資料を紹介しています。「昭和財政史資料」は平成十五年に財務省より移管された資料について、「森林管理局移管文書」は平成十九年に森林管理局より移管された資料についての論考です。前者はすでに当館のデジタル・アーカイブにて資料画像が提供され、関心が高まりつつある資料です。後者は、前者ほど資料の整理が済んでいませんが、数多くの発見がなされるであろう貴重な資料群です。今後の研究に期待がかかります。

「内閣文庫における台湾関係資料」は、当館のアジア歴史資料センターにて公開している資料の紹介、また『内閣文庫漢籍分類目録』別名・字号索引」は当館所蔵の漢籍を調査する際に有効な索引で、当館の検索システムであるデジタル・アーカイブを補完するものです。

当館では、来館が難しい方々にも当館の資料が利用できるよう、デジタ

ル・アーカイブやデジタル・ギャラリーの充実を図っています。ホームページのアドレスは <http://www.archives.go.jp/> です。是非、ホームページをご覧ください。

最後に、「地図目録作成の試み―行政区分による目録編成―」は、公文書館専門職員養成課程の修了論文のうちで優秀と認められた論文です。今後もこのような形で優秀論文を掲載していく予定です。

（土屋）